

【オリコンサルグローバルら フィリピン南北鉄道 設計、監理を受注】

オリコンサル
グローバル
オグロ
設計、監理を受注
フィリピン南北鉄道

オリエンタルコンサルタンツグローバルは7日、同社を代表とする6社JVが11月28日に国際協力機構（JICA）から「フィリピン国マロスックラーク鉄道事業、延長約70キロ」と「フィリピン国南北鉄道事業南線、延長・同」の詳細設計調査（2事業パッケージ、契約金額79億6000万円）を受注したと発表した。また、1日にはフィリピン運輸省から「フィリピン国南北通勤鉄道事業（マロスックツツバン、延

長約38キロ）の施工監理業務（契約金額144億円）を、同社を代表とする5社JVで受注した。フィリピン政府は、マニラ首都圏の交通混雑の悪化を背景に鉄道事業に力を入れており、マニラを中心に首都圏を南北に結ぶ総延長約178キロの鉄道事業を計画している。

同社はこれまで、同鉄道の中心部に当たる「南北通勤鉄道事業（マロスックツツバン）詳細設計調査」を実施しており、今回、同区間の施工監理を受注した。さらに、同鉄道の北側マロスックラークと南線（ソリス・カラバンバ）の詳細設計を受注した。同鉄道はフィリピン現政権中に部分開通を目指している。

業務概要は、マロスックラーク鉄道事業と、南北鉄道事業南線がFS（事業実現可能性）調査、基本・詳細設計、入札図書案作成、南北通勤鉄道事業（マロスックツツバン）が高架・駅・車両基地建設工事の施工監理。